

フローティングスタンド

SU-FHS1

取扱説明書

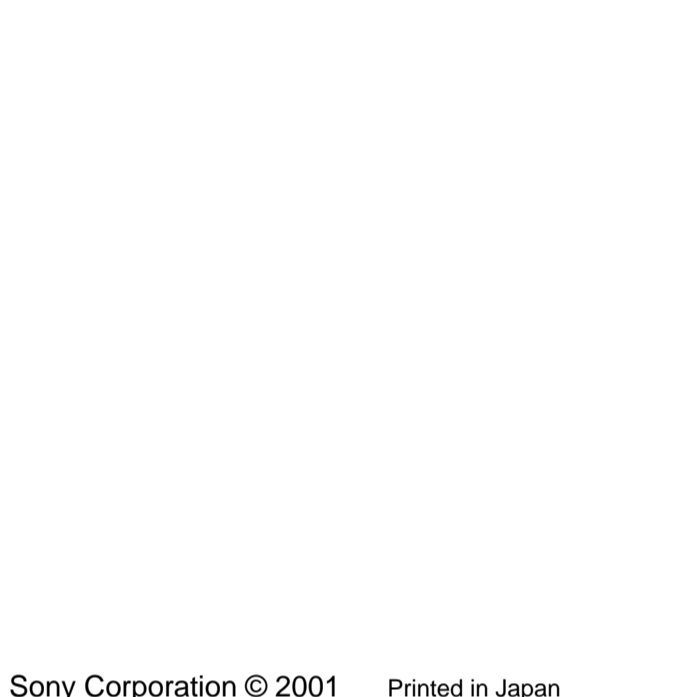
お買い上げいただきありがとうございます。

警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このフローティングスタンドはソニー製の指定機器専用です。下記指定機器以外には使わないでください。

指定機器：フラットパネルカラーテレビ (KZ-42HS500)

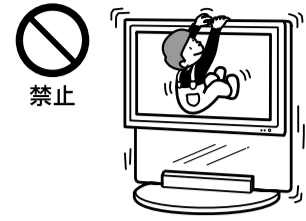


Sony Corporation © 2001 Printed in Japan



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

スタンドにディスプレイユニットを掛けた状態で、ディスプレイユニットにぶら下がらないスタンドが転倒して、大けが、死亡などの原因となることがあります。



ディスプレイユニットの電源映像ケーブルをはさまないようにする

- ディスプレイユニットをスタンドに取り付けるとき、電源映像ケーブルをはさまないようにする。電源映像ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。
- テレビスタンドを動かすとき、電源映像ケーブルを踏まないようにする。電源映像ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。



注意

下記の注意事項を守らないとけがをしったり周辺の品物に損害を与えたりすることがあります。

指定機器以外の物を掛けない
このスタンドは指定機器専用です。指定機器以外の物を掛けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

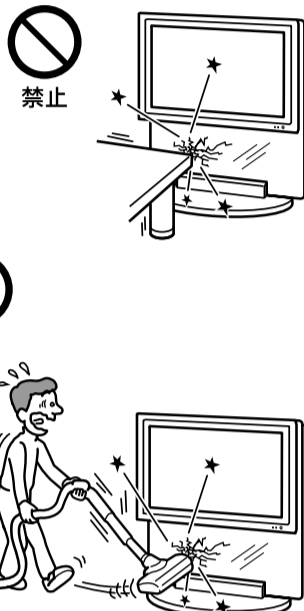
取り付け手順に従って、ディスプレイユニットをしっかりと取り付ける
ディスプレイユニットがしっかりと取り付けられていないと、ディスプレイユニットが落下し、けがの原因となることがあります。

ディスプレイユニットを固定する
スタンドに付属している留め板でディスプレイユニットをスタンドに固定してください。ディスプレイユニットを固定しないと、ディスプレイユニットが落ちたりしてけがの原因となることがあります。



ガラスに強い衝撃を与えない
スタンドには強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対割れないわけではありません。割れると、けがの原因となりますので下記のことをお守りください。

- 物をぶつける、先端の尖った物を落とすなど、強い衝撃を与えない。
- 鋭利な物で傷をつけたり、ガラス面を突いたりしない。
- 掃除機など、固い物をガラスの端面に当てない。



スタンドを動かすときのご注意

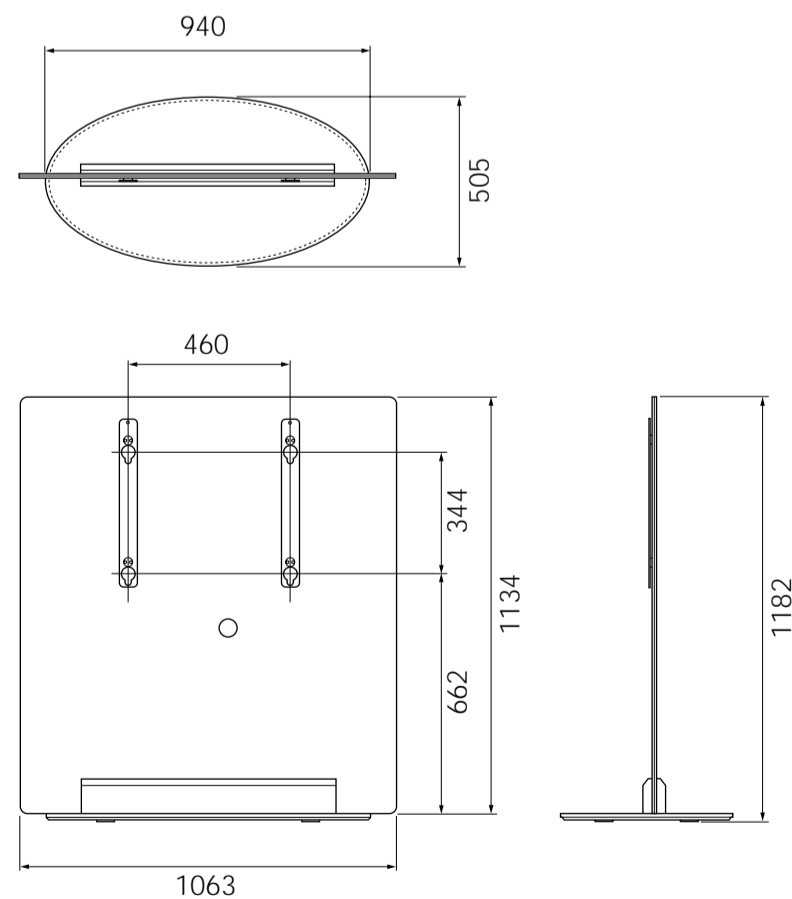
- スタンドを動かすときは、スタンド本体を持ってください。ディスプレイユニットは絶対に持たないでください。スタンドが落下し、大けがの原因となります。
- スタンドを動かすときは、足を底板の下や、ガラス板の角にはさまないようにご注意ください。

使用上のご注意

- ディスプレイユニットを取り付けるときに、ガラスに手をつけて体重をかけたり、ドライバーなど硬いものを落としたりしないようにご注意ください。
- お手入れをする際には、柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食用洗剤を5～6倍に薄め、柔らかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はテレビスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。
- 設置場所は、堅くて平坦な床面にしてください。設置場所によってはスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。
 - 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は板など堅い物を敷く
 - 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
 - 高温多湿の場所や屋外に置かない

主な仕様

単位：mm
質量：59 kg



本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかしまちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながるがあります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしったり周辺の品物に損害を与えたりすることがあります。

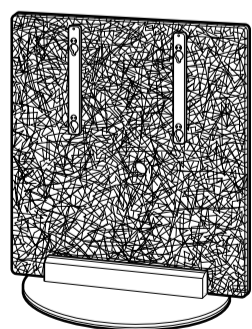


下記の注意事項を守らないと火災・感電・破裂により死亡や大けがの原因となります。

スタンドに寄りかかったり、ぶら下がったりしない
スタンドが倒れて、けがの原因になります。



ひび割れが入ったスタンドは使わない。
ガラスが割れて、ディスプレイユニットが落ちたり、スタンドが倒れたりしてけがの原因になります。



取扱説明書で指定された方法で移動する
誤った移動方法を行うと、スタンドが倒れて、けがの原因になります。

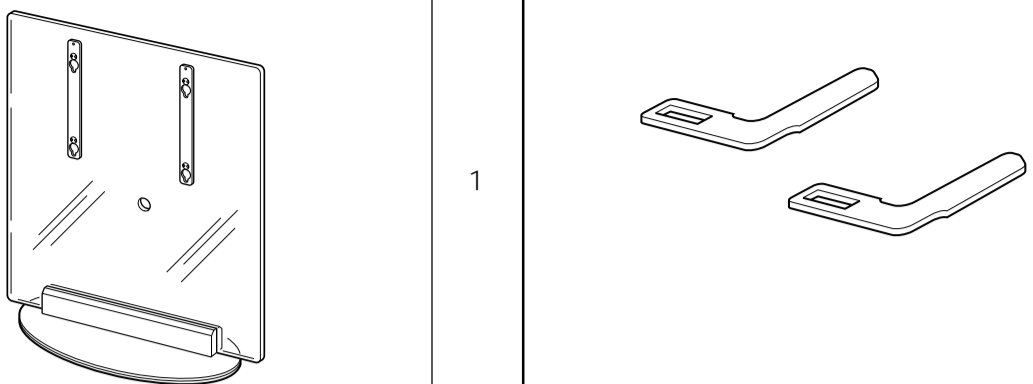
ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
お問い合わせはお客さま相談センターへ
●ナビダイヤル……………0570-00-3311 受付時間：月～金 9:00～20:00
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
●携帯電話・PHSでのご利用は……………03-5448-3311 土・日・祝日 9:00～17:00
●Fax ……………0466-31-2595

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

部品を確認する

名称	数量	名称	数量
フローティングスタンド	1	留め板	2



ディスプレイユニットを取り付ける

⚠危険

すべての作業が終わるまで、電源映像ケーブルをデジタルAVユニットに接続しないでください。

電源映像ケーブルをディスプレイユニットの背面に固定する場合

スタンドを置く。
スタンドは重いので、ディスプレイユニットを掛けるまえに場所を決め、置いてください。

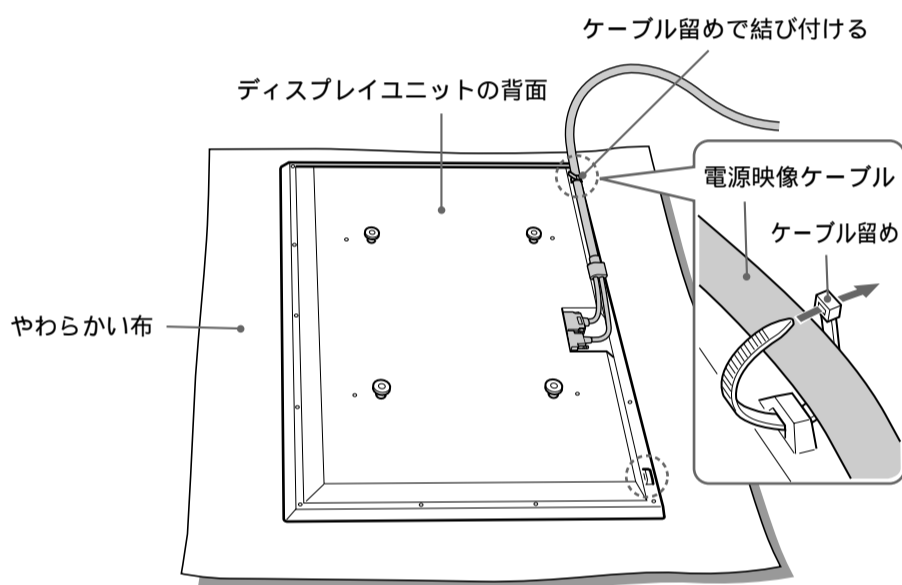
⚠注意

スタンドを押ししたり、引いたりしないでください。スタンドの底に付いているゴム足がはがれる恐れがあります。

1 電源映像ケーブルをディスプレイユニットにつなぐ。

👁ちょっと一言

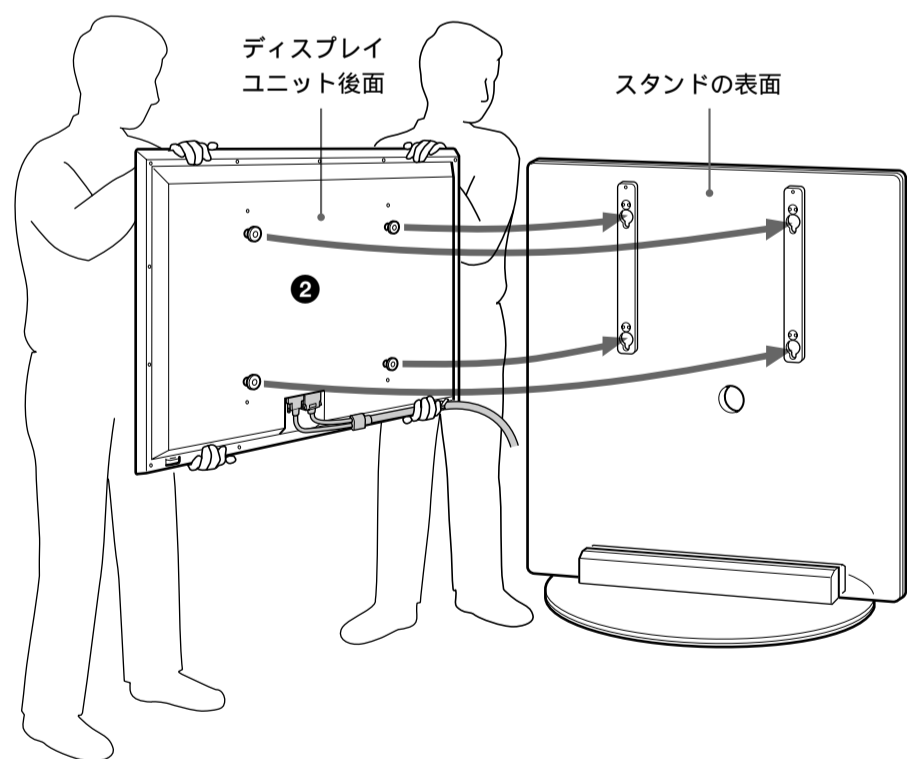
電源映像ケーブルの接続については、フラットパネルカラーテレビ(KZ-42HS500)の取扱説明書をご覧ください。



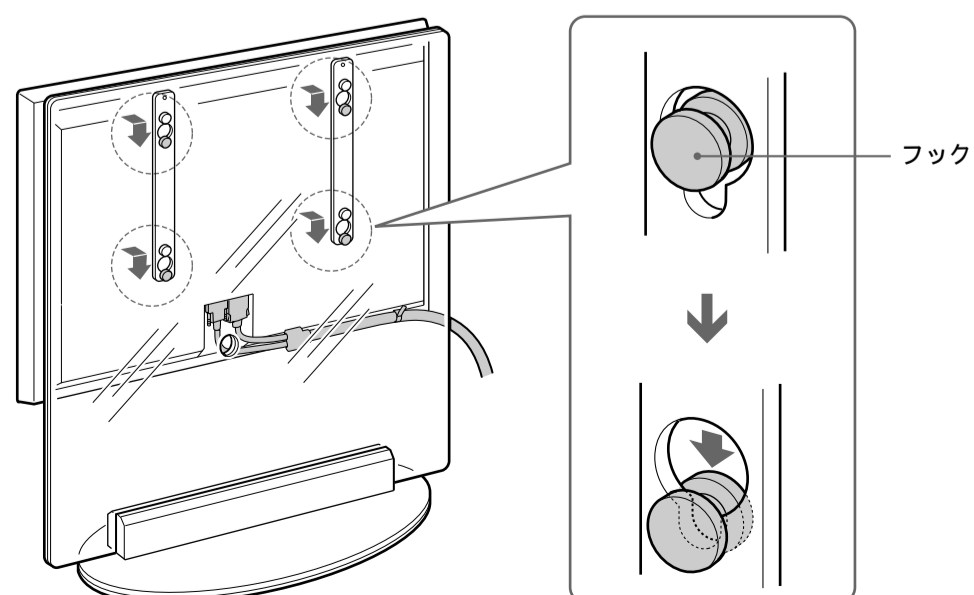
ディスプレイユニットに付属のケーブル留めをディスプレイユニット後面の通し穴を通して、電源映像ケーブルを結び付けます。通し穴は左右2か所ありますので、どちらか都合の良いほうを使ってください。

2 ディ스플레이ユニットをスタンドに掛ける。

① スタンドに付いている金具の4か所の穴を確認しながら、ディスプレイユニット後面のフックをゆっくりはめ込む。



② 金具の4か所の穴にディスプレイユニット後面のフックが完全にはまったことを確認してから、ディスプレイユニットをガチャッと音がするまでまっすぐ下におろす。



電源映像ケーブルをスタンドの穴に通す場合

スタンドを置く。
スタンドは重いので、ディスプレイユニットを掛けるまえに場所を決め、置いてください。

⚠注意

スタンドを押ししたり、引いたりしないでください。スタンドの底に付いているゴム足がはがれる恐れがあります。

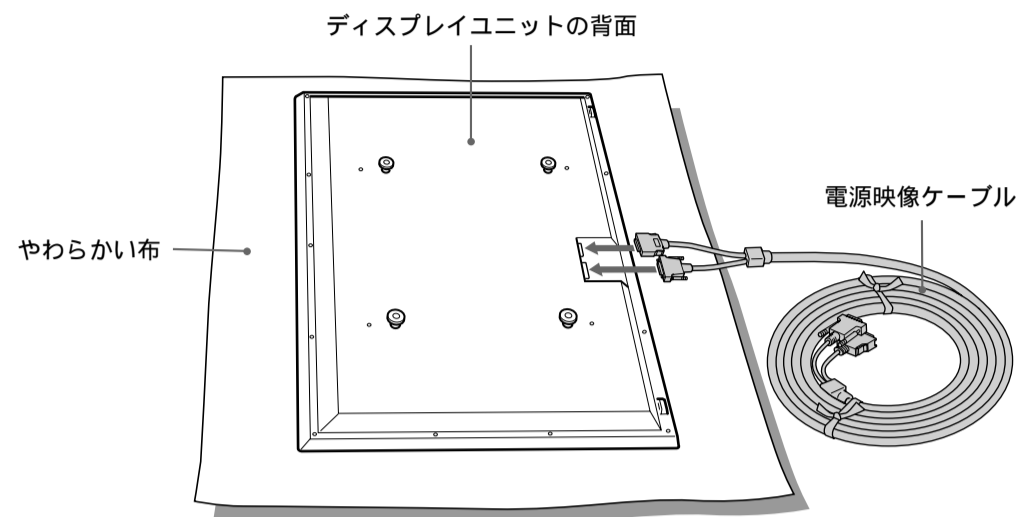
1 電源映像ケーブルをディスプレイユニットにつなぐ。

👁ちょっと一言

電源映像ケーブルの接続については、フラットパネルカラーテレビ(KZ-42HS500)の取扱説明書をご覧ください。

⚠注意

電源映像ケーブルをスタンドの穴に通す場合は、電源映像ケーブルをケーブル留めで留めないでください。(その際、電源映像ケーブルは下図の状態のままにします。)

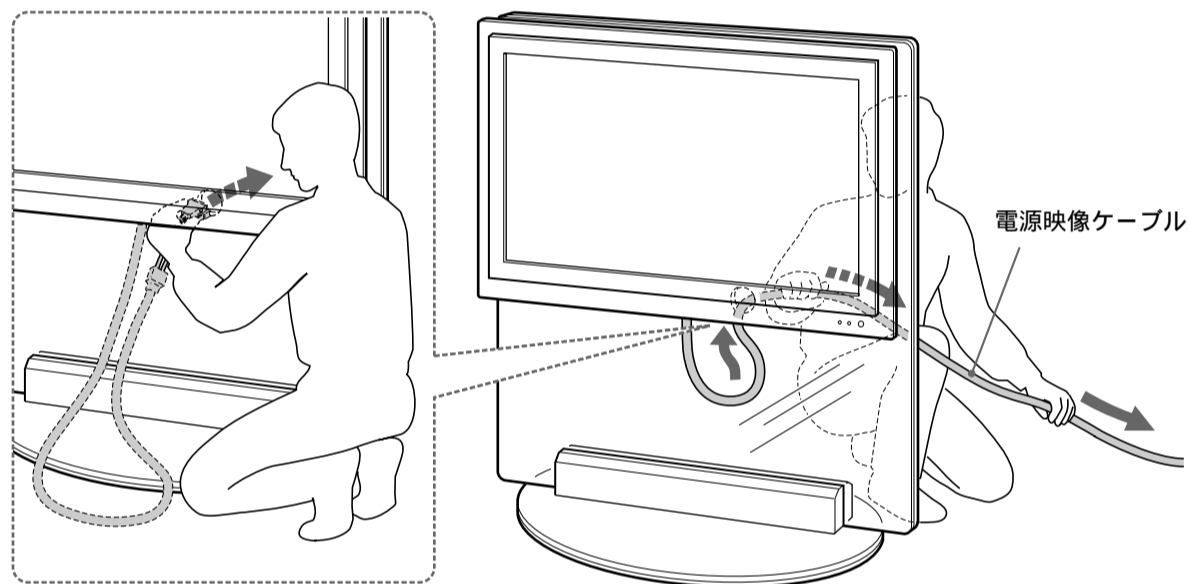


2 ディ스플레이ユニットをスタンドに掛ける。

“電源映像ケーブルをディスプレイユニットの背面に固定する場合”の手順2を参照する。

3 電源映像ケーブルをスタンドの穴に通す。

ディスプレイユニットをスタンドにかけた後に、電源映像ケーブルをスタンドの穴に通す。



ディスプレイユニットを固定する

1 留め板を差し込み、はずれ防止の処置をする。

① スタンドの金具の上部に付いているネジとディスプレイユニット後面のフックの間に、留め板を差し込む。

② 留め板の“L”字の角がネジにあたるまで横にスライドする。

